

【学校教育目標】「笑顔いっぱいの学校づくり」

～温かい心で共に高め合い、主体的に取り組む子供の育成を目指して～

鬼塚小学校便り No.20

令和7年1月8日発行

文責 校長 市丸 明彦



ベストスマイル



3学期スタート 明けましておめでとうございます

今年も子供たちの「笑顔づくり」のため、全職員一丸となって頑張っていきます。今後とも、皆様方のご協力・ご支援をよろしくお願い致します。

【3学期始業式の話より一部抜粋】

今日から3学期が始まりました。皆さんは、今年をどんな年にしようと思いませんか。校長先生はこれまで以上に、皆さんが「**思いやりのある優しい人**」になってもらいたいと思います。

思いやりの「思い」とは、気持ちのことです。「やり」とは、そちらに自分の心向けるという意味です。ですから、「思いやり」とは、自分の気持ちを相手に向けるという意味になります。でも、自分の気持ちを相手に向けて良いというわけではありません。なぜならば、「思いやり」は、声をかけたり、励ましたり、優しくしたりするなど、まずは行動することが大切だからです。また、時にはそっとしておいたり、注意したりすることもあるのです。

このように、「思いやり」というのは、相手の立場になって、どうすることが一番いいのかをよく考えて、行動することなのです。

校長先生は、そんな「思いやり」のある人に出会うと、その人がとても美しく見えて、魅力的な人だと感じます。他の言葉で表すと、「とてもかっこいい」と思います。皆さんも、ぜひ、そんな「思いやり」のある美しく、魅力的で「かっこいい人」になってもらいたいと思います。全校の皆さんが思いやりのある優しい人になると、笑顔いっぱいの鬼塚小学校にもっともっとなると思います。

それに、もう一つ頑張ってもらいたいことがあります。それは、何かを続けるということです。「**継続は力なり**」という諺があります。わずかなことでも、続けて行えば成果となって表れます。小さな努力も続けてやれば成功するという意味です。あのイチロー選手も「自分は特別な才能を持って生まれたわけではないが、継続することができたから成功できた」と言っています。しかし、ただ続けるだけでは成果は上がりません。こんな風になりたいという目標や夢をしっかりと描いて、それを意識しながら続けることが大切です。ぜひ、自分が頑張ろうと決めたことを続けてみてください。

新聞やニュース等の報道であるように、全国的にインフルエンザが流行し、佐賀県にも警報が出ています。生活のリズムをしっかりと戻して、マスク着用、うがい、換気などの基本的な感染対策をして予防していきましょう。

